

秋田県校友会第35回同窓生の集い

平成23年7月31日(日)秋田市中通の秋田ビューホテルにおいて、「第35回同窓生の集い」が大学本部から須永藤子先生にご出席いただき、同窓生21名が参加して開催された。総会は、物故者に対する黙祷の後、菅原芳孝会長(S48年卒)のあいさつに始まり、平成22年度会務報告及び決算報告、平成23年度事業計画及び収支予算案について審議され、満場一致で原案どおり承認された。また、春の叙勲で地方教育行政功勞により旭日双光章を受章された小南定志先生(S34年卒)に校友会を代表して菅原会長から花束贈呈された。研修会では、平澤裕之会員(S58年卒)から「Helicobacter pilori と ABC 検診について」齋藤吉之会員(S62年院卒)から「食品衛生に関する最近の話題」、小野郁男会員(H3年卒)から「インタードックの犬アトピー性皮膚炎に対する使用成績調査について」の3題の発表があり、活発な意見交換が行われた。

講話では、須永先生から資料を見ながら大学の近況、同窓会の現況等について詳細なお話をいただきました。

懇親会は、佐藤林治相談役(S41年卒)の乾杯で始まり、須永先生を囲んで和やかな雰囲気で行われ、学生時代の昔話に花を咲かせ、同窓会の活性化や将来展望についてと話が弾んだ。鈴木敏規副会長(S46年卒)の中締めで一次会場を後にしたが、二次会にも多くの会員が出席し、にぎやかな時間を過ごし、来年度の再会を期し懇親会を終了した。

最後に、大変お忙しい中ご出席いただいた須永先生に感謝申し上げますとともに、同窓会の益々の発展を祈念し報告とします。

(事務局： 蒔苗 修 S54年卒)

